

# ず〜っと岩沼



- P 1…表紙のとrikumiピックアップ (第一層協議体)
- P 2…岩沼小学校学区 同心町さわやかサロン P 3…玉浦小学校学区 グリーンリーフ
- P 4…岩沼西小学校学区 栄町お茶飲み会
- P 5…岩沼南小学校学区 あぶくまいきいきふれあいサロン
- P 6…つながりを作る活動紹介 P 7…生活支援体制整備事業紹介

「ず〜っと岩沼」バックナンバーはこちらからご覧ください→

(岩沼市社会福祉協議会 HP 上で公開しています。二次元コードを読み取って下さい)



# 「ず〜っと岩沼」は

## 生活支援体制整備事業の一環として、高齢者の生活を支える地域の取組をお伝えする情報誌です

誰もがいくつになっても住み慣れた地域で暮らし続けるため、地域における様々な活動が注目されています。

通いの場となるサロン等の活動や地域の見守り活動は、介護保険制度等の公的サービスとともに高齢者の生活を支える大切な活動となっています。

今号は、様々な団体が力を合わせ、多様な立場の方が交わりながら作り上げている地域の活動を紹介しています。

### 表紙のとりくみピックアップ！

2月27日(火)、岩沼市総合福祉センターを会場に、令和5年度 支えiの地域づくり会議(第一層 協議体) 第1回目を実施しました。

生活を営む上で欠かせない「高齢者の買い物」に焦点を当て、企業の地域活動や高齢者に向けたサービス等についての情報共有により、現状を理解し、関係者間でともに考え、高齢者が住みやすい地域づくりを目指すことを目的に、市内のスーパー、ドラッグストアを対象にお声がけし、(株)伊藤チェーン、(株)ヨークベニマル、(株)カワチ薬品、フレスコ(株)、みやぎ生活協同組合より、7名の方にご参加いただきました。

第2・3回目の結果もあわせ、次年度以降も引き続き、高齢者の買い物について何ができるのか、検討していきます。



### おめでとう 200回！！ 虹の会 ふれあいサロン

ず〜っと岩沼第1号で取り上げた、虹の会ふれあいサロン。昭和62年の立ち上げより、コツコツ活動を重ね、3月5日(火)、200回目を迎えました。

当日は、柴田町で活動するボランティア アンフィルさんによる歌、ピアノ、大正琴、ギターと、多彩な音楽を楽しみました。

50名を超える参加者の「楽しかったよ」の声に、「続けてきてよかった」と、虹の会のみなさんの笑顔が見られました。





## マンション×近隣住民から生まれた ～同心町さわやかサロン～

### 岩沼小学校学区

同心町町内会は、ラルゴ岩沼セントラルプラザ(マンション)を含む町内会です。

マンション内には元々会議や憩いの場として利用できるスペースがあり、その場所を活用して何かできないか、と同心町さわやかサロンが生まれました。

立ち上げには市の交流サロン助成金を活用し、現在は、参加費収入、町内会の協力のもと運営しています。

おしゃべりをして和む時間の他、現サロン代表の大槻さんによる詐欺被害防止の啓発や、ちょっとした健康のお話、みんなで脳トレのために替え歌を大きな声で歌うことも大切な時間になっています。

サロンには、マンションの方を中心に、地域に開かれた場所として、町内会の方、他町内会の方も参加しています。

コロナ禍以前は、隣接する高齢者施設カーサ岩沼の方も参加し、交流を深めていました。現在は、施設の方の参加は難しくなっていますが、感染症対策に留意しながら、途切れることなくサロンを続けています。

マンション内だからこそ、住民以外の方が入りづらく感じるという課題がありながらも、高齢化している住民にとってはエレベーターで移動するだけで気軽に参加できる、という大きなメリットもあるのが特徴です。

普段から、マンション住民の方に信頼が厚い管理人さんも、見守りに協力してくれています。

集合住宅であるがゆえ、戸建て住宅とは異なる地域づくりの難しさがあると言えますが、サロンを核に、顔が見える関係性を築いて、お互いに見守りあっています。

### 地域の活動ピックアップ ～毎日ラジオ体操！～

サロンの場である共有スペースでは、有志によるラジオ体操も毎日行われています。天候に左右されず行えるため、毎日コツコツ健康づくりを続けています。



## 玉浦小学校学区

## サロン×デイサービスセンター ～交流サロン グリーンリーフ～

早股下一地区は、農家が多く、青年会が活発に活動している地域です。

「交流サロン グリーンリーフ」は、産地直売所・市民農園である、朝どり+楽農村、早股下一集会所を会場に、市の交流サロン助成金を活用し、平成29年から始まりました。

他のサロンとの交流会、工場見学、仙台空港からバスでうみの杜水族館+ミュージカル鑑賞といった岩沼市外での活動もあり、地区を越え意欲的に活動をしていました。

コロナ禍で一旦活動中止となりましたが、声を掛け合う等の関係性は続いており、再開が待ち望まれていました。全会員・介護福祉課・地域包括支援センター・社会福祉協議会

も加わった話し合いの結果、令和5年4月より活動再開となりました。

現在は、折り紙やハンドクリーム作りなど幅広い活動を行っています。

毎回異なる活動に参加することを参加者の皆さんが楽しみにしています。

地域のための活動も実施しており、以前よりコーラスの披露等で交流のあった、近隣にあるデイサービスセンターくろまつ荘で利用する布巾を、会員が力を合わせて作る予定になっています。

来年度から開催回数を少しずつ増やしていきたい、他地区とも交流したいという希望もあり、益々活動の幅が広がっています。

### 地域の声ピックアップ ～ 参加者にさまざまな体験を！～

「参加者がなるべく様々な体験をできるようなサロンにしたい」(サロン代表岡崎さん)

近所の参加者の送迎を行うなど、グリーンリーフには欠かせない存在の代表者さん。一人ではできないことでも、みんなと一緒に楽しく体験してもらいたいという思いを持ち、電車や地下鉄等公共交通機関の体験等、積極的に活動に取り組んでいます。



発起人は町内会長×民生委員×区長×老人クラブ

## 栄町お茶飲み会

岩沼西小学校学区

岩沼駅の西側に位置する栄町地区では、令和5年11月から栄町集会所を会場として毎月1回開催する「栄町お茶飲み会」をスタートしました。

始めるきっかけは、会の代表を務める川合民生委員の「コロナにより住民が交流する機会がなくなった。マンション住民も含めてみんなが気軽に集まれる場をつくりたい」という想いでした。

その想いを岩沼西地域包括支援センターの第2層生活支援コーディネーター(以下第2層コーデ)が受け止め、町内会長、栄町地区を担当する4人の民生委員、4人の区長、老人クラブに第2層コーデが声をかけ、話し合いを行いました。

みんなが気軽に集まれる場所の大切さを、話し合いの参加者全員が感じており、スムーズにお茶飲み会の実施が決まりました。

お茶飲み会は、町内会としてではなく、民生委員と区長の自主的な活動での実施です。

町内会は活動のバックアップという形で関わっています。

「継続して行っていくために、背伸びをせずにできる事から始めていく」ということを第一に、運営費は助成金を活用せずに参加者からの参加費で対応しています。

何人来るかがわからず、不安を抱えてのスタートでしたが、不安を吹き飛ばすように、毎回20～30人の参加者で集会所はいっぱいになっています。

会の中心メンバーが工夫を凝らした手作り感あふれる内容も、魅力の一つです。

栄町地区全体がより良い地域になるように、と今後は子どもたちを巻き込んだ活動も検討されています。

### 地域の声ピックアップ ～懐かしい顔に会える場所～

「気軽に集まれる場所がなかった。ここに来て懐かしい顔に会えてうれしい」(参加者より)  
地域の行事もコロナにより中断されており、顔を合わせる機会が減少していた中立ち上がったお茶会。満を持して立ち上がったこともあり、会は笑顔にあふれています。



岩沼南小学校学区

町内会×老人クラブ×子ども会が運営委員会

## あぶくまふれあいいきいきサロン

阿武隈町内会と阿武隈団地町内会は、阿武隈川沿いに位置する町内会です。

団地内に集会所があり、2つの町内会、老人クラブが利用しています。

阿武隈町内会には、町内会の方を対象とした老人クラブ、阿武隈長生会(以下長生会)があり、活発に活動しています。

同じ集会所を利用しているのだから、阿武隈団地の高齢者の方も参加できる活動を、と平成29年に立ち上がったのが、あぶくまふれあいいきいきサロンです。

以前の集会所、座卓に座布団、と高齢者の立ち座りには不便だったため、宝くじの助成金を活用し、椅子とテーブル、空調を整備。

サロン立ち上げのための備品の購入、運転資金は市の交流サロン助成金を活用し、サロンが始まりました。

立ち上げ当初より、2町内会、老人クラブ、子ども会の4団体で構成される運営委員会にて運営しており、コロナ禍以前は、年に1回キッズサロンと称し、子ども会との交流も行われていました。回数を重ねるごとに高齢者の居場所だけでなく、世代間交流の場として、2つの町内会にとって大切な存在となっていました。

コロナによる3年の休止期間を経て、令和5年4月より、高齢者中心の活動から再開しています。サロンの様子は変わらず、常時30名を超える参加者の方が来て、茶話会、カラオケ、創作活動、囲碁など、思い思いの時間を、笑顔で過ごしています。

町内会をまたいで、地域を構成する4団体が関わり合い、地域の居場所づくりに取り組んでいます。

### 地域の活動ピックアップ ～月に1回の大切な運営委員会～

サロンでは、月に1回運営委員会を開いています。その中では、また子どもたちと一緒に活動したい！という声もあがっています。年に1回のキッズサロン開催時は、防災無線を使用し、子どもたちに町内への呼びかけアナウンスをお願いする等、子どもたちが活躍する場でもあったサロン。

令和5年度は、できなかった子どもたちとの活動再開に向けても計画を練っています。

地域にパワーを広げるヒーローたち!

～地域支え合い研修～



2月16日(金)、地域支え合い研修を実施しました。

講師の真壁さおり先生より「なぜ今支え合いが必要なのか」をテーマに講話いただいたのち、3名の地域の方々に支え合いの活動発表をいただきました。

1人目は、青木光穂さん。青木さんはご家族の介護をされており、支えられる側の方でしたが、現在は地域で独居の方のゴミ出しや、高齢者住宅の草取り等のボランティア活動をしています。南東北地域包括支援センターのコーディネーターとの出会いで、悩みを打ち明け、分かち合う場ができ、前向きな活動ができるようになった方です。ご自身の介護の経験も交えてお話ししてくださいました。

2人目は、阿武隈長生会会長の峯岸実さん。会員の高齢化、参加者の減少がどこのクラブも共通課題の中、会員外にも友愛訪問をすることや、子どもの見守り活動をすることで、地域に老人クラブの活動を広く周知しています。活動の情報を発信し、地域と見守りあう関係性を築いているクラブのお話を伺いました。

3人目は稲荷町町内会会長の齋享さん。高齢者に向けたサロンの他、若い世帯も巻き込んだ町内会活動についてのお話の他、近隣の町内会にも活動を広げようと、近隣4町内会との情報交換を実施した話を伺いました。

地域と関わり合いながら生活することで、見守り、支え合う関係性が生まれることの大切さを、3人のヒーローから学ぶことができた研修となりました。

写真上から 青木 光穂さん

阿武隈長生会会長 峯岸 実さん  
稲荷町町内会会長 齋 享さん

地域でお役立ち☆

つながり広げる場所・もの コレクション

## ナースカフェ(ナースケア岩沼)

岩沼の中央商店街の通りにおしゃれなモノトーンの建物ができました。それがナースケア岩沼です。ナースケア岩沼は、訪問看護ステーションとして利用者さんの自宅や施設へ出向き、状態観察や医療的ケアなどのサービスを提供しながら、地域に根付いた活動を展開しています。

地域に向けた活動の一環として、事務所の一階を利用可能な時間帯に開放しており、現在も活用方法を検討中です。今年度は、サロンとして近隣の民生委員さんをお招きし、訪問看護の役割や、介護についての勉強会を開きました。

ナースカフェと称し、気軽に立ち寄れる場所、地域の身近な相談場所となるよう今後も地域包括支援センターや民生委員さん等地域の方々と交えて検討していく予定です。



↑民生委員さんとのサロンの様子



↑一階が地域に開放しているスペースです

## 生活支援体制整備事業とは？

生活支援コーディネーターの配置と、協議体の開催を通して

①

②

高齢者が暮らしやすい地域をみんなで考えてつくっていくこと

### ① 生活支援コーディネーターとは = 支え合いの輪をつくるつなぎ役

「高齢になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために」地域で生きがいや役割を持ち自分らしい生活を送ることができるようにお手伝いするのが生活支援コーディネーターです。

### ② 協議体とは = 支え合いの輪をつくる話し合いの場

地域住民、町内会、民生委員・児童委員、民間企業、行政、地域包括支援センター、社会福祉協議会など様々な役割の人が集まり、高齢者が生活を送る上で地域の気になる事や課題解決にむけた話し合いを行います。



← 第一層 協議体  
支えの地域づくり会議

第二層 協議体→  
藤浪町内会協議体  
地域課題を共有・抽出する為、  
南東北地域包括支援センター  
が声がけをして実施しました



第一層生活支援コーディネーター（社会福祉法人 岩沼市社会福祉協議会）

〒989-2427 岩沼市里の杜三丁目4番15号 TEL 0223-29-3711 / FAX 0223-29-3341

第二層生活支援コーディネーター（各小学校区ごとに設置された包括支援センターに配置）

#### 岩沼西小学校区

##### 岩沼西地域包括支援センター

業務委託 社会福祉法人 敬長福祉会  
〒989-5459 岩沼市たけくま三丁目6番8号  
TEL 0223-36-7266 / FAX 0223-23-3755

#### 岩沼小学校区

##### 岩沼市社会福祉協議会地域包括支援センター

業務委託 社会福祉法人 岩沼市社会福祉協議会  
〒989-2432 岩沼市中央一丁目4番27号  
TEL 0223-25-6834 / FAX 0223-25-4332

#### 岩沼南小学校区

##### 南東北地域包括支援センター

業務委託 社会医療法人 将道会  
〒989-2427 岩沼市里の杜一丁目2番6号  
TEL 0223-23-7543 / FAX 0223-23-5665

#### 玉浦小学校区

##### マリンホーム地域包括支援センター

業務委託 社会福祉法人 ライフケア赤井江  
〒989-2429 岩沼市恵み野一丁目7番地の1  
TEL 0223-25-6656 / FAX 0223-22-1271